

運命のP K戦 野西制す

絶対王者青森山田を撃破



【決勝・八学野西—青森山田】前半7分、先制ゴールを決め、喜ぶ八学野西の阿部寛太（中央）

II 八戸ブライフーズスタジオム

幾多の惜敗積み重ね「ようやく歴史が変わった」

チームでまとまれた」(藤田主将)。体を投げ打ってシュートをブロックし、足をついても立ち上がりボールを追いつけた。

青森山田に幾度となく阻まれてきた決勝の舞台。前年も強力なトップを擁して挑んだが、県高校総体、全国高校選手権県大会とも惜敗した。「今までずっと関わってきたけれど人の思いとか、積み重ねが今日の結果につながった」と三上監督。運命のPK戦は先輩の思いも後押しとなり、気迫で勝利をもぎ取った。

7月下旬からのインターハ
イは全国の猛者が集結する。
「そこを倒せなかったら」「や
つぱり青森山田の方が良かっ
た」って思われてしまう。野
西の底力を見せて勝ち上がる
（藤田主将）。新たな歴
史はまだ始まったばかりだ。

(桑田友人、大西桂介)

ついに青島島の頂点につり着いた。サツカ男、牙勝であり、八咫岳は絶対王者の青森山田を衣の末に暴破。安心かというか、ようやく歴史が変わつたように、感無量です。本誌に、試合終了後に泣き崩れる金平やスタッフがいる中、崩れる初優勝選手に手には三ノ冠盃は、しみじみと言葉を紡いだ。

立ち上がった激しうボールを奪つと、前半中分初シュート。7分には主将の藤田律が右サイドにはなくと、Dフ楯本楓樹がゴール前クロスを上げ、当たってただけだと阿部繁太、体を投げ出し、頭でゴールに突き刺した。

後半18分にロングスローからゴールをこじ開けられたが、「追いつかれることも想定していたのでもっとなく

▽3位決定戦
八学光星 21-01 八戸西

サッカー

[illegible]

デーリー東北新聞社提供